

令和2年度第1回学校運営協議会が行われました

晩秋の候、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、兼六小学校では、ようやく第1回目の学校運営協議会を10月26日に実施することができました。学期に一回ずつ学校運営協議会を開催する予定でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から1学期の開催は見送りとなり、年2回の開催となります。



学校運営協議会委員の皆様です

安宅 雅夫 (材木公民館 館長)	井奈 孝史 (材木地区町会連合会 会長)
宇田 直人 (兼六小学校育友会 会長)	大溝 了庸 (兼六小学校 学校医)
小西 護 (金沢文芸館 館長)	篠原 忍 (兼六小学校 校長)
社本 秀一 (味噌蔵地区少年連盟 会長)	砂走 勇紀 (まこと保育園 園長)
瀬谷 浩 (兼六中学校 校長)	谷 泰徳 (まちぐるみ福祉活動推進員)
外山 郁生 (味噌蔵地区町会連合会 会長)	野田 大介 (味噌蔵町公民館 館長) ★
東 良光 (金沢中街頭交通推進隊 副隊長)	古橋 孝実 (兼六小地域コーディネーター)
割崎 泰 (材木地区少年連盟 会長)	

(敬称略・五十音)

★は学校運営協議会会長

第1回の会合では、校長より本校の現状や今年度の学校運営基本方針の説明をさせていただきました。そして、教務主任より今年度の本校の現状を受けての取組についての説明をさせていただきました。

校長より

- ・子供たちは非常に礼儀正しく、落ち着いて行動できる子が多い。反面、新型コロナウイルス対応による部分もあるだろうが、あいさつなどに元気さが欠ける面も見える。あいさつなどはマスクなどの制限もあるが、目を見てするなど、コロナ対応下でもできる取組を行っていききたい。
- ・兼六小校区は、伝統と文化が息づく地域であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から見学なども制限されている。オンラインなどを活用しての学習をさらさらに進めていく。
- ・教職員の業務適正化については、休業後コロナ対策や、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点に沿った授業の準備等で勤務時間は長くなっている現状がある。ウィズコロナの観点で取組を考えていく必要がある。

教務主任より

- ・小中一貫教育に関しては難しい面が多く、今年度は中学校参観を行わず、中学校の生徒が小学校に説明をしに来るといった形をとる。
- ・学習では、話すことの制限（少人数での話し合いの制限など）がされる中、全体授業の中での話し合い活動を大切にしている。学習内容については、ほぼ予定通り進んでいる。
- ・あいさつに関しては、できているという子供の肯定的評価は高いが、実際に朝、玄関であいさつを聞いていると、あいさつに元気がないように感じる。個人差はまだ大きいですが、学校としての取組を考えていきたい。
- ・休業中にゲームやネットをする習慣がついた子が多く、ネットゲームの中での人間関係が学校内に持ち込まれることもある。

委員の皆様から

- ・ストレスの中、子供たちに変化は？
⇒落ち着いて学習ができる反面、活力がない、体力が落ちているという状況がある。
 - ・毎朝のあいさつがやや少ない。学校に足の向かない子供が今年も多く、立ち止まっている子もいる。
 - ・今年はいさつに元気がない。元気にあいさつをするという指導がないのも原因だと思う。
 - ・近所の公園では例年より多くの子が暗くなるまで遊んでいる。エネルギーを発散する場所が少ないのかと感じる。この後いじめなどが出てこないよう先生方に温かい目で見守っていただきたい。
 - ・育友会では、お祭りの見守りや広報誌の発行は行ったが、他は活動できていない。話を聞いているとあいさつや体力面などもともとあまり良くなかったものがさらに悪くなっている状況がある。育友会としてどのように取り組むか考えていきたい。
 - ・あいさつや体力面でさみしい状況ではあるが、心の面ではなんとかできればと感じている。アクリル板などを用意して相手の目を見て話せるようになるなど工夫をしていって欲しい。
 - ・これから感染拡大防止の取組で、省いていいものも出てくるだろうが、マスクなど今後も必要なものもある。
 - ・中学では、子供たちがいろいろなストレスを抱えている状況であるが、リスクを踏まえながら、みんな考えて行事を行えるように取り組んでいる。子供たちにやり遂げた感、満足感を持たせたいと考えている。
 - ・このような状況下で良かったことはあるのか？
⇒研修などがオンラインで行われるなど、これまでの形式が変わる部分が出てきた。見学もスマートフォンなどを使っての見学など今までと違った学習スタイルが出てきた。
 - ・大人に元気がないと、子供にも元気が出ない。コロナ下だからこそできることを考え取り組んで欲しい。
- これからも難しい状況は続くかも知れないが、この状況下で子供たちを、学校を応援できるように考えていきたい。

地域の皆様へ

今年度は、残念ながら地域の皆様と関わる学習が少なくなっている状況です。しかし今後地域での活動等を徐々に増やしていく予定です。今後とも兼六小学校の児童をよろしくお願い致します。